

年9月11日。

- 3) 伊藤加代子, 五十嵐敦子: ドライマウスに関する検討, 第4回更年期と加齢のヘルスケア研究会, 東京, 2005年11月20日。
- 4) 井上 誠: 摂食・嚥下障害の基礎と臨床 - エビデンスを求めて - . 身体障害領域作業療法研修会, 福島, 2005年12月4日。
- 5) 井上 誠: 摂食・嚥下リハビリテーション. 新潟リハビリテーション研究会, 新潟, 2006年2月6日。

【その他】

- 1) 黒瀬雅之, 山村健介, 野口真紀子, 山田好秋: 顎口腔領域の深部痛による顎反射の変調 (Modulation of jaw reflexes induced by the deep pain in the craniofacial region). 新潟歯学会誌 (最近のトピックス), 35 (2): 221-222, 2005.
- 2) 五十嵐敦子: 口腔ケアと味覚・ドライマウスについて. 老人保健施設みずき苑 新潟, 2005年6月24日。
- 3) 山田好秋: 嚥下時の食塊の動態. 第12回「ペパーメントの会」研修会, 宮崎, 2005年7月30日。
- 4) 山田好秋: 摂食・嚥下機構を理解するための生理と解剖. 日本摂食・嚥下リハビリテーション学会公認セミナー「地域で展開される摂食・嚥下リハビリテーション～職種内の連携～」, 長崎, 2005年8月6日。
- 5) 山田好秋: 摂食行動発現のしくみ. 日本咀嚼学会第4回健康咀嚼指導士講習会 東京, 2005年8月20日。
- 6) 五十嵐敦子: 口腔ケアとドライマウス. 白根健生病院, 新潟, 2005年9月12日。
- 7) 伊藤加代子: 第114回日本補綴歯科学会 デンツプライ賞受賞 2005年10月2日。
- 8) 山田好秋他: 食べる機能の検査食, ならびに維持・回復を目的とした咀嚼強化食品の開発 (提案). アグリビジネス創出フェア出展, 東京, 2005年10月6-7日。
- 9) 山田好秋他: 食と花の世界フォーラム・にいがた2005 食と花の見本市プレ05出展, 新潟, 2005年11月5-6日。
- 10) 井上 誠: 「食からの復興 - 災害からの教訓に学ぶ -」. 新潟大学地域連携フードサイエンスセンター主催, 2005年10月29日。
- 11) 田巻元子: 口腔ケアセミナー「摂食・嚥下～はじめの一步～」. 日本海デンタルショー in にいがた, 新潟, 2005年11月12・13日。
- 12) 山田好秋他: 北陸食と農の交流フェア出展, 金沢, 2005年11月18-19日。
- 13) 伊藤加代子: 第4回更年期と加齢のヘルスケア研究会 研究会奨励賞受賞 2005年11月20日。
- 14) 五十嵐敦子: 加齢と味覚障害 - 味がわからない - あ

あなたは大丈夫. 第4回更年期と加齢のヘルスケア研究会: ラウンドテーブルでのディスカッション, 東京, 2005年11月20日。

- 15) 山田好秋: 高齢者でも楽しめる食事 (ソフト食), 老健にいがた第19号, 2005年。
- 16) 五十嵐敦子: 加齢と味覚障害. 統合医療展: 横浜パシフィコ, 横浜, 2006年1月18-19日。
- 17) 伊藤加代子: 感染予防のための口腔ケア. 地域県民介護講座: 三条市総合福祉センター, 2006年1月27日。
- 18) 山田好秋: 嚥んで食べる体の仕組み. 日本歯科大学創立100周年記念市民健康公開フォーラム嚥んで食べていきいき元気 - 咀嚼と咬合が創る健康長寿 -, 東京, 2006年2月2日。
- 19) 山田好秋: 高齢者における摂食・嚥下の重要性 そのメカニズムと患者指導 (摂食と嚥下に関する巻頭座談会 藤谷順子氏との対談), 東京, 2006年2月14日, 消化管 Network - Physician Today -, 7(2): 2-5, 2006.
- 20) 伊藤加代子: 歯科における性差医学を追求 (GSM 最前線インタビュー), 性差と医療, 2 (9): 1028-1029, 2005.
- 21) 山田好秋: 口腔機能概論 (咀嚼・嚥下). セミナー/オーラルケア研究の最前線と食品開発 - 最新研究を始点とした新食品の開発のヒントを探る -, 東京, 2006年2月16日。
- 22) 伊藤加代子: 口腔機能向上のための評価とその実施法. 新潟県歯科衛生士会: 水原保健センター, 2006年3月5日。
- 23) 伊藤加代子: 口腔乾燥症と味覚障害. 訪問口腔衛生指導研修会: 新潟市役所, 2006年3月27日。

歯科侵襲管理学分野

【論文】

- 1) Aita M, Maeda T, Takagi R, Seo K: Postnatal development of substance p-immunoreaction in the trigeminal caudalis of neonatally capsaicin-treated mice, Archives of Histology and Cytology, 68: 311-320, 2005.
- 2) Seo K, Fujiwara N, Takeuchi K, Maeda T, Someya G: Postnatal Development of Excitation Propagation in the Trigeminal Subnucleus Caudalis Evoked by Afferent Stimulation in Mice. Neuroscience Research, 52: 201-210, 2005.
- 3) Aita M, Seo K, Fujiwara N, Takagi R, Maeda T: Postnatal changes in the spatial distributions of substance P and neurokinin-1 receptors in the trigeminal subnucleus caudalis of mice. Developmental Brain Research, 155: 33-41, 2005.

- 4) Seo K, Tanaka Y, Terumitsu M, Someya G: Characterization of different paresthesias following orthognathic surgery of the mandible. *Journal of Oral and Maxillofacial Surgery*, 63: 298-303, 2005.
- 5) Seo K, Tanaka Y, Terumitsu M, Someya G: How do Japanese patients express claims of numbness as a postoperative complication of orthognathic surgery?. *Dentistry in Japan*, 41: 124-129, 2005.
- 6) 瀬尾憲司, 田中 裕, 石井多恵子, 岡部香織, 染矢源治: 顔面神経麻痺と顔面の痺れが同時に認められた1症例, *ペインクリニック*, 26 (3):430-431, 2005.
- 7) 豊里 晃, 倉田行伸, 前川孝治, 石井多恵子, 岡部香織, 田中 裕, 瀬尾憲司, 染矢源治: 歯科用治療椅子の体位変換が血圧と脈拍数に及ぼす影響 - 高齢者と若年者の比較 -, *日本歯科麻酔学会雑誌*. 33 (3):433-438, 2005.
- 8) 石井多恵子, 岡部香織, 田中 裕, 瀬尾憲司, 染矢源治: 当科における三叉神経知覚障害の治療成績と予後の検討. *日本歯科麻酔学会雑誌*, 33(3): 389-397, 2005.
- 9) 豊里 晃, 山下 庸, 野村修一: 筋萎縮性側索硬化症(ALS)患者における吸飲カテーテルの口腔内保持装置, *障害者歯科*, 26 (2):277-279, 2005.
- 3) 瀬尾憲司: 「基礎学問の臨床への応用と, 臨床の基礎学問への発展」, 第6回口腔顔面痛懇談会, シンポジウム1・神経因性疼痛の基礎と臨床, 岡山, 2005年6月11日.
- 4) 瀬尾憲司: 「神経損傷後の痺れについての考察」, 第22回関東臨床歯科麻酔懇話会 会長講演, 東京 2005年6月25日.
- 5) 田中 裕: 「歯科における心身症患者の対応」, (株)旭化成主催歯科心身症講演会, 新潟, 2005年8月4日.
- 6) 瀬尾憲司: 「頭痛, あなたの頭痛はどのタイプ?(くちから起こる頭痛)」, 新潟市三師会主催 市民公開講座, 新潟, 2005年10月15日.
- 7) 瀬尾憲司: 「基礎神経生理研究の臨床展開」, 第1回顎口腔脳機能学会 設立シンポジウム, 新潟, 2005年11月5日.

【学会発表】

【研究成果報告書】

- 1) Aita M, Maeda T, Takagi R, Seo K: Different Effects of Neonatal Capsaicin Treatment on the Spatial Distribution of Substance P and CGRP in the Trigeminal Caudalis, 35th. Annual meeting of Society for Neuroscience. Washington DC, USA, Nov. 12-16, 2005.
- 2) 弦巻 立, 朴 紅蘭, 長井慎吾, 樋口宗史: Synergistic interaction of neuropeptide Y-Y1 receptor and 1A-adrenoceptor on the contractile response in rat arteries. 第79回日本薬理学会年会, 横浜, 2006年3月8-10日, *Journal of Pharmacological Sciences*, 100 (suppl 1), 125, 2006年.
- 3) 朴 紅蘭, 弦巻 立, 長井慎吾, 樋口宗史: Histamine-induced relaxation mediated by H2-receptor and its distribution in rat bloodvessels. 第79回日本薬理学会年会, 横浜, 2006年3月8-10日, *Journal of Pharmacological Sciences*, 100 (suppl 1):264, 2006年.
- 4) 長井慎吾, 弦巻 立, 樋口宗史: Characterization of histamine- and serotonin-induced contractions in porcine cerebral and ciliary arteries. 第79回日本薬理学会年会, 横浜, 2006年3月8-10日, *Journal of Pharmacological Sciences*, 100 (suppl 1): 279, 2006.
- 5) 右近さゆり, 村山昌子, 佐藤真里, 石井結里, 小林富佐子, 柴田佐都子, 豊里 晃, 野村修一: 介護者に口腔ケア意識を啓発するためのパンフレット - 介護者の理解と活用状況のアンケート調査 -. 新潟歯
- 1) 豊里 晃, 野村修一, 五十嵐敦子, 山田好秋, 染矢源治: 新しい嚥下機能評価方法の確立. 文部科学省科学研究費補助金研究, 基盤研究(C)(2), 課題番号 16591939, 2005年.
- 2) 瀬尾憲司: 神経損傷後のしびれはどのようにして発生するか?. 文部科学省科学研究費補助金研究, 基盤研究(C), 課題番号 17592068, 2005-2006年.
- 3) 瀬尾憲司: ガイドライン2000に沿った歯科医師対象の救急蘇生法の教育開発と展開. 平成17年度新潟大学教育プロジェクト, ガイドライン2000, 157113-511136, 2004-2005年.
- 4) 田中 裕: 波解析による歯科治療恐怖症の迅速的病態診断法確立と治療法応用への試み. 文部科学省科学研究費補助金研究, 若手研究(B), 課題番号 16791233, 2004-2005年.
- 1) 田中 裕: 「歯科におけるモニタリング」, TDRJ 特別講演会, 山形, 2005年4月21日.
- 2) 田中 裕: 「インプラント手術におけるモニタリングの実際」, K's Club (衛生士会) 特別講演会, 新潟, 2005年6月1日.

【講演・シンポジウム】

- 学会総会, 共同演者, 新潟, 2005年4月16日, 新潟歯学会誌, 35(1), 90, 2005.
- 6) 前川孝治, 豊里 晃, 荒井良明, 櫻井直樹, 佐藤一弘, 佐藤孝弘, 藤井規孝, 石井多恵子, 岡部香織, 田中 裕, 星名秀行, 瀬尾憲司, 魚島勝美, 斉藤 力, 高木律男, 染矢源治: 当科外来で全身管理した歯科インプラント手術の動向. 新潟歯学会, 2005年4月27日, 新潟, 新潟歯学会誌, 35(2), 70, 2005.
- 7) 真島一郎, 藤村健夫, 清水夏恵, 江部佑輔, 斉藤 功, 村上修一, 片桐敦子, 吉嶺文俊, 長谷川隆志, 村松芳幸, 下条文武, 田中 裕: Near-fatal asthmaとnon-near-fatal asthmaにおける換気応答の相違. 第46回日本心身医学会総会, 2005年5月12-13日, 奈良, 心身医学, 45, Supplement, 155, 2005.
- 8) 前川孝治, 豊里 晃, 石井多恵子, 岡部香織, 田中裕, 瀬尾憲司, 染矢源治: インプラント手術時の静脈内鎮静法に関する術者へのアンケート調査. 第33回日本歯科麻酔学会, 2005年10月26-28日, 鹿児島, 日本歯科麻酔学会雑誌, 33(4), 458, 2005.
- 9) 岡部香織, 瀬尾憲司, 田中 裕, 石井多恵子, 染矢源治: インプラント埋入術後に生じた三叉神経ニューロパチーに薬物療法が奏効した1例. 第33回日本歯科麻酔学会, 2005年10月26-28日, 鹿児島, 日本歯科麻酔学会雑誌, 33(4), 463-464, 2005.
- 10) 石井多恵子, 瀬尾憲司, 田中 裕, 岡部香織, 豊里 晃, 染矢源治: 周術期の気道管理に問題のあった口蓋形成術の一症例. 第33回日本歯科麻酔学会, 鹿児島, 2005年10月26-28日, 日本歯科麻酔学会雑誌, 33(4), 601, 2005.
- 11) 倉田行伸, 豊里 晃, 田中 裕, 瀬尾憲司, 染矢源治: エピネフリン添加局所麻酔薬注入の体位変換時の循環動態および自律神経活動の変化. 第33回日本歯科麻酔学会, 鹿児島, 2005年10月26日 10月28日, 日本歯科麻酔学会雑誌, 33(4), 624, 2005.
- 12) 田中 裕, 瀬尾憲司, 豊里 晃, 松井 宏, 石井多恵子, 岡部香織, 前川孝治, 染矢源治: 自律訓練法を治療に併用した結果, 義歯使用が可能となった異常絞扼反射を伴う患者2症例の経験. 第33回日本歯科麻酔学会, 鹿児島, 10月26-28日, 日本歯科麻酔学会雑誌, 33(4), 651, 2005.
- 13) 豊里 晃, 伊藤加代子, 田巻元子, 野村修一, 河野正司: 要介護者への口腔機能リハビリテーションのデイサービスでの実施とその効果. 老年歯科医学会, 東京, 2005年6月16日, 老年歯科医学会誌, 20(3), 245, 2005.
- 14) 豊里 晃, 伊藤加代子, 田巻元子, 野村修一, 河野正司: 要介護者に対する「お口の体操」の実施効果. 日本摂食・嚥下リハビリテーション学会, 名古屋, 2005年9月3日, 日本摂食・嚥下リハビリテーション学会雑誌, 9(3), 391-392, 2005.
- 15) 豊里 晃, 伊藤加代子, 田巻元子, 野村修一, 河野正司: 要介護者口腔保健医療ケアに係るクリニカルパスの開発. 第4報 リハビリテーションの効果. 日本補綴歯科学会総会, 新潟, 2005年10月1日, 日本補綴歯科学会, 49(114), 154, 2005.
- 16) 豊里 晃, 倉田行伸, 田中裕, 絵男憲司, 染矢源治: プロポフォルによる精神鎮静法の深さと嚥下反応. 日本歯科麻酔学会, 鹿児島, 2005年10月27日, 日本歯科麻酔学会雑誌, 33(4), 84, 2005.

【研究会発表】

- 1) 石井多恵子: 周術期の気道管理に問題のあった口蓋形成術の一症例. 第56回新潟口腔外科麻酔科集談会, 新潟, 2005年6月9日.
- 2) 弦巻 立, 朴 紅蘭, 長井慎吾, 樋口宗史: ラット動脈での Neuropeptide Y との血管収縮協調作用に関わるアドレナリン 1 受容体サブクラスの検討. 第56回日本薬理学会北部会, 新潟, 2005年10月4日.
- 3) 長井慎吾, 弦巻 立, 樋口宗史: プタ脳血管および毛様体動脈におけるヒスタミン及びセロトニン収縮に關与する receptor subtype の検討. 第56回日本薬理学会北部会, 新潟, 2005年10月4日.
- 4) 清野宏幸: 全身麻酔中の重篤な不整脈が危惧され, 1 回目は術前日に経静脈ペーシングを施行して手術に臨み, 2 回目は施行せずに手術に臨んだ症例の検討. 第57回新潟口腔外科麻酔科集談会, 新潟, 2005年11月10日.
- 5) 田中 裕: 「歯科心身症の対応」新潟大学医歯学総合病院義歯診療室主催講演会, 新潟, 2005年11月30日.
- 6) 瀬尾憲司: 「歯科における重箱の隅の学問「痛み」と「救急蘇生」のおはなし」. 新潟大学歯学部同窓会セミナー, 新潟, 2006年1月29日.

【その他】

- 1) 田中 裕: BLS ヘルスクエアプロバイダー資格取得 (AHA 福島 BLS トレーニングサイト), 新潟, 2005年4月16日.
- 2) 本多忠幸, 木下秀則, 瀬尾憲司, 豊里 晃, 田中 裕, 石井多恵子: 第8回新潟大学医歯学総合病院 BLS・AED 講習会 (講師), 新潟, 2005年4月23日.
- 3) 瀬尾憲司: AHA Advance Cardiopulmonary Life Support provider 取得 (AHA 福島トレーニングサイト), 福島, 2005年5月17日.
- 4) 本多忠幸, 木下秀則, 瀬尾憲司, 豊里 晃, 田中 裕, 石井多恵子: 第9回新潟大学医歯学総合病院 BLS・AED 講習会 (講師), 新潟, 2005年5月21日.

- 5) 本多忠幸, 木下秀則, 瀬尾憲司, 豊里 晃, 田中裕, 石井多恵子: 第10回新潟大学医歯学総合病院 BLS・AED 講習会(講師), 新潟, 2005年6月4日.
- 6) 染矢源治, 瀬尾憲司, 豊里 晃, 田中 裕, 石井多恵子, 岡部香織, 前川孝治, 照光 真, 倉田行伸: 第22回関東臨床歯科麻醉懇話会(地方会開催, 会長: 瀬尾憲司), 東京, 2005年6月25日.
- 7) 染矢源治, 瀬尾憲司, 豊里 晃, 田中 裕, 石井多恵子, 岡部香織, 前川孝治, 照光 真, 倉田行伸: 新潟市歯科医師会主催救急講習会(講師), 新潟, 2005年7月21日.
- 8) 本多忠幸, 木下秀則, 瀬尾憲司, 豊里 晃, 田中裕, 石井多恵子: 第11回新潟大学医歯学総合病院 BLS・AED 講習会(講師), 新潟, 2005年7月23日.
- 9) 石井多恵子, 岡部香織: BLSヘルスケアプロバイダー資格取得(AHA 福島トレーニングサイト), 新潟, 2005年7月23日.
- 10) 豊里 晃: BLSヘルスケアプロバイダー資格取得(AHA 大阪トレーニングサイト), 大阪, 2005年8月6日.
- 11) 染矢源治, 瀬尾憲司, 豊里 晃, 田中 裕, 石井多恵子, 岡部香織, 前川孝治, 照光 真, 倉田行伸: 松村歯科救急蘇生講習会(講師), 新潟, 2005年8月20日.
- 12) 染矢源治, 瀬尾憲司, 田中 裕, 豊里 晃, 石井多恵子, 前川孝治, 照光 真, 倉田行伸: 新潟県歯科医師会救急蘇生講習会(講師), 新潟, 2005年9月11日.
- 13) 瀬尾憲司: 新潟大学歯学部FD主催(共同主催), 熊澤孝明先生講演「慢性炎症」とはなんだろう, 新潟, 2005年9月16日.
- 14) 本多忠幸, 木下秀則, 瀬尾憲司, 豊里 晃, 田中裕, 石井多恵子: 第12回新潟大学医歯学総合病院 BLS・AED 講習会(講師)新潟, 2005年10月15日.
- 15) 染矢源治, 瀬尾憲司, 豊里 晃, 田中 裕, 石井多恵子, 前川孝治, 照光 真, 倉田行伸: 新潟県西蒲原郡歯科医師会救急講習会(講師), 新潟, 2005年11月5日.
- 16) 染矢源治, 田中 裕, 豊里 晃, 石井多恵子: 新潟県歯科医師会ワーキンググループ救急講習会(講師), 新潟, 2005年11月6日.
- 17) 染矢源治, 豊里 晃: 沖縄県障害者全身麻酔下歯科治療事業, 沖縄県, 2005年11月16日-11月30日.
- 18) 本多忠幸, 木下秀則, 瀬尾憲司, 豊里 晃, 田中裕, 石井多恵子: 第13回新潟大学医歯学総合病院 BLS・AED 講習会(講師)新潟, 2005年11月19日.
- 19) 田中 裕: AHA Advance Cardiopulmonary Life Support provider 資格取得(AHA 新潟トレーニングサイト), 新潟, 2005年11月26-27日.
- 20) 本多忠幸, 木下秀則, 瀬尾憲司, 豊里 晃, 田中裕, 石井多恵子: 第13回新潟大学医歯学総合病院 BLS・AED 講習会(講師)新潟, 2005年12月10日.
- 21) 本多忠幸, 木下秀則, 瀬尾憲司, 豊里 晃, 田中裕, 石井多恵子: 第14回新潟大学医歯学総合病院 BLS・AED 講習会(講師), 新潟, 2005年1月28日.
- 22) 瀬尾憲司: 新潟大学歯学部FD開催(主催), 田中敏春先生講演「歯科医師にとって必要な新しい救急蘇生法」, 新潟, 2006年2月3日.
- 23) 本多忠幸, 木下秀則, 瀬尾憲司, 豊里 晃, 田中裕, 石井多恵子: 第15回新潟大学医歯学総合病院 BLS・AED 講習会(講師), 新潟, 2005年3月25日.

口腔生命福祉学科

【論文】

- 1) AKIKO SUZUKI, KAYOKO NOZAWA-INOUE, NOBUYUKI IKEDA, NORIO AMIZUKA, KAZUHIRO ONO, RITSUO TAKAGI, TAKEYASU MAEDA: Development of the Articular Cavity in the Rat Temporomandibular Joint With Special Reference to the Behavior of Endothelial Cells and Macrophages. THE ANATOMICAL RECORD PART A, 286A: 908-916, 2005.
- 2) Yasumitsu KODAMA, Marta MIYAZAWA, Jun-ichi FUKUDA, Akihiko IIDA, Kazuhiro ONO, Ritsuo TAKAGI: Progressive Memifacial Atrophy Treated by Orthodontic Surgery. Oral Science International, 2(2): 131-135, 2005.
- 3) Takei N, Ishikawa M, Shibuya K, Fukushima M, Iwaku M. Esthetics and oral care for the elderly-Order-made oral care based on an assessment of their independence and oral condition-. 歯科審美. 2005; 17(2):158-60.
- 4) Han L, Okamoto A, Fukushima M, Okiji T. :Enamel micro-cracks produced around restorations with flowable composites. Dent Mater J. 2005; 24(1): 83-91.
- 5) Honda T, Oda T, Yoshie H, Yamazaki K: Effects of *Porphyromonas gingivalis* antigens and proinflammatory cytokines on human coronary artery endothelial cells. Oral Microbiol Immunol, 20(2): 82-88, 2005.
- 6) Komatsu Y, Tai H, Galicia JC, Shimada Y, Endo M, Akazawa K, Yamazaki K, Yoshie H: Interleukin-6 (IL- 6)- 373 A9T11 allele is associated with reduced susceptibility to chronic periodontitis in